

Q.環境マネジメントシステムにはどのような特徴がありますか？



高島市
棚田

「滋賀銀行環境方針」のもと、環境を主軸とするCSRを追求し、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現にしがぎんグループをあげて取り組んでいます。

『しがぎん』の環境方針 ～クリーンバンク『しがぎん』をめざして～

- 1 滋賀銀行は、地球環境の保全ならびに環境への負荷低減を企業活動の基本と認識し、環境マネジメントシステムの継続的改善および環境汚染の予防に努め、「環境との共生」をめざします。
- 2 関連する環境の法規制、および滋賀銀行が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3 エコオフィスづくりの中で、省資源および省エネルギーを推進します。
- 4 環境対応型金融商品の開発・推進ならびに情報提供を通して、琵琶湖をはじめとした自然環境保全への取り組みを、地域とともに行います。
- 5 この環境方針を基に全従業員が環境について考え行動します。

クリーンバンクしがぎん ～込められた4つの思い～

- ① 省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」
- ② 環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による地域への環境保全活動への働きかけ
- ③ 倫理観の強い行員づくり
- ④ 透明度の高い情報開示

平成11年に宣言！

平成19年度環境活動の目標と実績

☺=達成 ☺=おおむね達成 ☹=未達成

平成19年度 環境目的・目標	平成19年度実績	評価	備考	
地球温暖化防止 地球温暖化ガス排出量を平成18年度比6%削減(3カ年計画)	21.16%削減	☺	CO ₂ 換算1,809t削減	
省資源	コピーカウント数の削減 平成18年度比 0.4%削減	3.91%増加	☹	法制度改正への対応等、特殊要因により紙使用量は増加
	コピーの両面化率の向上 コピーの両面化率 59.95%	56.74%	☺	
	帳簿用紙の削減(電子化) 帳簿用紙15種類を電子化	15種類	☹	累計で362種類を電子化
	連続用紙の使用量の削減 平成18年度比 0.1%削減	3.12%削減	☹	
	紙類のグリーン購入率の向上 紙類のグリーン購入率 100%	古紙配合率偽装問題への対応・調査を実施		
	文具類のグリーン購入の推進 文具類のグリーン購入率 85%			
省エネルギー	事務室電力使用量の削減 平成18年度比 1%削減	1.04%削減	☹	平成18年度比 53kWh削減
	紙ゴミのリサイクル率の向上 紙ゴミのリサイクル率99%	99.90%	☺	539tを再生紙リサイクル
	水道使用量の削減 水道使用量を25,100m ³ 以下	24,757m ³	☺	平成18年度比 1.41%削減
	ガス使用量の削減 ガス使用量を29,000m ³ 以下	29,080m ³	☺	平成18年度比 0.59%増加
	公用車の環境対応車への切替 29台を環境対応車に切替	33台	☺	公用車352台中、環境対応車は222台で採用率は63.1%

平成20年度の環境目的・目標については、コピーカウント数、両面化率の目標を廃止し、紙使用量全体の削減目標に見直しを行い、各部・関連会社においても、個別・単独の環境目標を設定し、取り組んでいます。

ISO14001

「エコオフィスづくり」に加え、銀行の本業を通じての環境保全活動を「環境マネジメントシステム」に組み込み、活動している点が審査機関に評価され、当行は平成12年に金融機関の中ではいち早く、環境管理の国際規格であるISO14001の認証を取得しています。

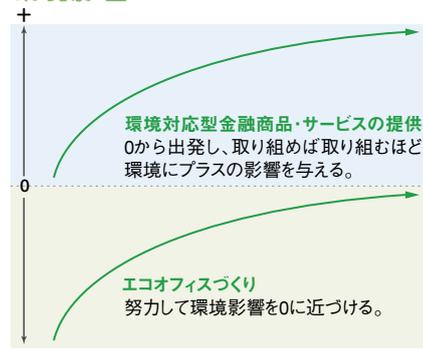
環境法規制の遵守

定期的に、環境に関する法規制などの制定・改正・廃止の情報収集を行い、平成19年度においても環境に関する法規制等の遵守状況を確認しております。

環境マネジメントシステム

「環境マネジメントシステム」は、当行が直接的に取り組むものと、間接的に取り組むものに分け、それぞれについて具体的に活動を展開しています。

環境影響



間接的な取り組み

環境保全に取り組まれるお客さまをサポートする環境対応型金融商品、サービスの開発・提供

直接的な取り組み

電力使用量の削減や、紙ゴミのリサイクルをはじめとするエコオフィスづくり



しがぎんVOICE

ISO実施責任者の声

(株)しがぎん経済文化センター 高橋 和也

弊社では取引先企業のISO14001などの環境認証の取得に向けて、これまでビデオライブラリー、e-KEIBUNなどによる環境情報の提供や、コンサルティングを実施してきました。今年度は新たに環境ニュースの発信を行い、さらに環境認証取得に向けてのセミナーも企画中です。ISOの輪がもっと広がるように努めてまいります。